

姉妹都市締結50周年記念 安東市訪問事業参加報告書

議員 児玉 崇

期 間	令和6年4月23日（火）～ 26日（金）
訪問先	韓国 安東市
感想・所見など 安東市庁に到着時、あいにくの雨にも関わらず大勢の職員に歓迎を受け、まずは感銘を受けました。そして、両国間の歴史に刻まれた政治的問題を微塵も感じさせない歓迎ぶりは、これまでの50年の長きにわたる友好の証であることを認識させられました。 姉妹都市親善交流写真展開幕式は、写真が展示されている庁舎正面入り口にて盛大に行われました。街の風景や祭事、歴史的建造物等20点ずつがお披露目され、互いが持つ街の魅力を伝えることで、職員の方々はもちろん、訪れる安東市民の方々にも友好の意が伝わり本市への興味も深まることと感じてまいりました。 両市の幹部同士の懇談会では、お互いのスポーツ振興や農業振興についての話題が出され、本市で間もなく開催となるさくらんぼマラソンや高齢者でもできるニュースポーツ等、あらゆる競技（スポーツ）でも交流を図っていくこともできるのではとの声もありました。また、農業においては、耐寒性の強い品種の選定や改良、そしてこれから普及していくスマート農業技術の活用で、安東市でもさくらんぼの量産が可能となってくるのではとの意見も出されました。今後益々の交流が図られていくことの糸口となる懇談会になったのではと感じてまいりました。 【姉妹都市締結50周年記念式典】 在釜山総領事もご臨席の元、式典では、これまでの50年、そしてこれからの新たな50年を約束すべく両市の更なる交流発展のための共同宣言が取り交わされました。 併せて、記念品や互いの図書の寄贈目録の交換等もなされたほか、本市からは慈恩寺関係者による舞楽、安東市側は800年以上の歴史を持つとされる「河回別神グッ仮面劇」という伝統芸能が披露され、参加された全員が互いの地で受け継がれてきた伝統文化に触れ、相互の理解を深めることができたと思いますし、文化の交流と理解を促進するうえで重要な公演であったと思います。互いが伝統芸能を通じて、歴史や伝統の尊重、文化の多様性を称することは異文化交流として必要なことであり、信頼関係の構築に繋がっていくことであると感じてまいりました。 【安東農協 訪問・懇談会】 約20名の安東農業の理事・職員の方々に迎えられ懇談会を行ってまいりました。 先に現地職員による案内のもと、農協が経営するスーパーマーケットを見学。懇談会へと移り資料や映像にて安東農協の現況をご説明いただき意見交換へと。本市は「さくらんぼ」、安東市は「りんご」の各々主力産品について多くの意見が交わされ、約30年続いた姉妹農協として今後も友好を深めていくことを認識することができました。 また、安東農協では六次産業の活性化に向けて、他産地の物より香りが強いとされる「安東生姜」の商品化に力を入れている旨のご紹介をいただいた。好評販売されている「H!GINGER（ハジジンジャー）」なるサイダーを試飲させていただき、安東産生姜の特徴がいかされていることを感じながら、本市においても「他にはない」「他とは違う」「他	

より優れている」という強い気持ち（誇り）とそのストロングポイントをいかした六次産業化の進展にもっと焦点を当てていくべきではと感じてまいりました。

以上、半世紀にわたり交流を重ねてきた安東市へのこの度の訪問。これまで築き上げた人と人との触れ合いによる相互尊重と理解を基盤に、今後もあらゆる文化の交流のみならず、企業間の経済交流の推進、子どもたちや若い世代の交流と教育プログラムの拡充などへの相互理解を深めていくことが重要であると感じました。そして、相互の利益を考慮し、持続可能な関係を築いていくことが大切であることを総括とし、今後本議会でも安東市との交流に携わっていければと思っております。